



一本道

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

西小学校通信No.4

令和6年5月1日

校長 吉田憲一

1 校内研修、授業力向上こそ教師の一番の仕事

4月24日、放課後に校内研修を行いました。すでに3回目です。本年度の研究主題は、次のとおりです。

「自ら考え、表現し協働的に学ぶ児童の育成 ～「熊本の学び」を生かした授業改善を通して～」

年間20回の研修を行いながら、授業力の向上を目指します。学校で生活する大部分は授業時間です。教師各自の授業力の向上が、学校の雰囲気や前向きな雰囲気です。教師の仕事時間の大部分は、授業創りに使うべきだと思っています。そのためには、教師の余力が必要不可欠です。だからこそ、働き方改革が叫ばれているのです。

先生方が余力を生み、授業創りに専念するためにも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力、そして大きな応援をよろしくお願いいたします。



西小HP

2 授業紹介①「4年国語」、もしもを検討する

4月24日、4年「国語」の授業を参観しました。最後の5分程度でしたが、黒板を見て、面白そうな授業だなあと感じました。



メイン発問は『「夏みかん」に変えるのはどうだろう。』でした。つまり、「白いぼうし」という題名を、もしも「夏みかん」に変えたらどうか？と考えるのです。「どっちだろう？」と選択する学び、「なぜだろう？」と理由を考える学びは、思考力を鍛えます。

「夏みかん」と「白いぼうし」でたくさんの理由が出たようです。例えば、村本えなさんの理由発表は、「やはり白いぼうしがいいと思います。わけは、白いぼうしによって、不思議なことが起こったからです。」です。4年生の「発表力」、素敵です。

3 PTA総会、2つのお願い

4月22日のPTA総会の校長挨拶の第2弾です。今回は、「2つのお願い」についてです。子供たちは、学校で7時間から8時間、集団生活しながら学びます。集団だからこそ、適度なストレスがあります。しかし、集団だからこそ、成長することも数多くあります。それが集団生活する学校によさの1つです。家庭に帰ってからは、ぜひ「心と体の元気力」を整えて、登校させてほしいと思っています。そのための「2つのお願い」が次のスライドです。

(1) SNSは、使い次第で、いじめや昼夜逆転での不登校につながることもある。

(2) つまり、「朝食を

食べ、登校班で歩いてくること」で、脳内に幸せホルモンが分泌される。素敵だと思いませんか。ぜひ「2つのお願い」を各家庭で取り組まれて、子供たちの「心と体の元気力」を整えてあげてください。

2つのお願い

(1) SNS問題は、原則家庭教育
(マナー作り・ルール作り)

(2) セロトニン(幸福物質)の活性化を朝家庭で
(朝日、運動、食事)